

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	福祉対策 措置	大塔診療所運営事業	五條市	6,280,000	6,280,000	総事業費 7,193,593

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	福祉対策措置	大塔診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		五條市
交付金事業実施場所		五條市大塔町
交付金事業の概要		<p>五條市大塔診療所の医師1名、事務職員1名、訪問リハビリ職員（理学療法士）1名、整形外科外来医師1名の人件費等9ヶ月分。</p> <p>五條市南部の山間地域に位置する人口213人、高齢化率66.2%の大塔町で運営する大塔診療所は、町内唯一の医療機関であり、利用者の殆どが慢性疾患の定期受診が必要な高齢者で、1日数本の公共交通機関を利用して町外の医療機関を定期的に受診することは体力的にも負担が大きい状況となっています。</p> <p>住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、診療体制を整えることにより、必要な人に医療・医薬品を確実に届け、健康維持や定住促進、地域の活性化に資するよう努めています。</p>

<p>交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>五條市ビジョン（令和2年度～令和11年度） 第2条 安心して定住できるまちをつくる 2-1 地域医療・救急医療体制の充実 2-1-1 地域医療体制の充実 安心して定住できるまちの実現に向け、保健・福祉等、 日常的な生活サービスの提供の体制づくりに取組みます。 【目標】 大塔診療所年間診療日数 156日（令和5年度）</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>大塔診療所 年間診療日 数</p>	<p>156日 (週3日)</p>	<p>成果実績</p>	<p>日</p>	<p>144日 (週3日(月・火・金)実施)</p>	
			<p>目標値</p>	<p>日</p>	<p>156日 (週3日(月・火・金)実施)</p>	
			<p>達成度</p>		<p>92.3%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
	<p>本交付金の活用により、当該診療所の医師1名、事務職員1名、訪問リハビリ1名、整形外科外来1名の人件費9ヶ月分を確保することができました。次年度に向けても、引き続き医師、事務職員、訪問リハビリ、整形外科外来を雇用することで、安心して定住できるまちの実現に向け、五條市ビジョンの推進を図っていきます。</p>					
	<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>					
	<p>有 五條市ビジョン推進懇話会（会長1名、副会長1名、委員8名）</p>					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度		
	派遣医師、事務職員、訪問リハビリ、整形外科外来医師の雇用量 (人数×期間(月))	活動実績	人月	36		
		活動見込	人月	36		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備考	
総事業費	7,193,593					
交付金充当額	6,280,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	6,280,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
医師人件費	協定締結	医師1名	1,284,300			
事務職員人件費	雇用	事務職員1名	5,298,493			
訪問リハビリ人件費	報償	有限会社アクトケアシステムズ 取締役	150,000			
整形外科外来人件費	協定締結	奈良県立医科大学附属病院 医師1名	460,800			
	計		7,193,593			
交付金事業の担当課室	五條市 すこやか市民部 保健福祉センター					
交付金事業の評価課室	五條市 市長公室 企画政策課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業	吉野町	4,400,000	4,400,000	総事業費 5,699,046

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉野町
交付金事業実施場所		吉野町大字飯貝
交付金事業の概要		よしのこども園の特別支援保育担当者2名の人件費。 吉野町は、吉野町教育振興基本計画において特別支援教育の推進を主要施策としている。こども園の維持運営を図るとともに、特別支援を要する園児の保護者が安心して子育てができる環境の整備や女性が暮らしやすいまちづくりの推進に努めます。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>○吉野町教育振興基本計画 基本方針 1 学校（園）教育の充実 主要施策 特別支援教育の推進 特別な支援を必要とする子どもたちが、主体的に取り組み、その能力を最大限に伸ばすよう、適切な指導や支援を行います。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>こども園の学年制によるもの</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>特別支援担当保育者の配置</p>	<p>特別支援を要する園児に対する担当保育者の割合</p>	<p>成果実績</p>	<p>人</p>	<p>保育者2人（園児6人）</p>	
			<p>目標値</p>	<p>人</p>	<p>保育者2人（園児6人）</p>	
			<p>達成度</p>		<p>100.0%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>児童の流動的な入退園に対応するため。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
	<p>本交付金の活用により、当該園の特別支援保育担当者2名の人件費を確保することができました。次年度に向けても、引き続き特別支援保育担当者を雇用することで、特別な支援を要する児童の安定した教育を行い、安心して子育てができる環境の整備や女性が暮らしやすいまちづくりの推進を図っていきます。</p>					
	<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>					
	<p>無</p>					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	特別支援担当保育者活動日	活動実績	日	202	202	204
		活動見込	日	202	202	204
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
総事業費	5,408,284	5,617,083	5,699,046			
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
保育講師人件費	雇用	会計年度任用職員 保育講師2名		5,699,046		
計				5,699,046		
交付金事業の担当課室	吉野町教育委員会事務局					
交付金事業の評価課室	吉野町政策戦略課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	十津川村衛生センターご み処理施設整備補修工事	十津川村	26,561,000	26,561,000	総事業費 27,445,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営等 措置	十津川村衛生センターごみ処理施設整備補修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十津川村
交付金事業実施場所		奈良県十津川村大字高滝
交付金事業の概要		<p>電源立地地域対策交付金を活用し、機器全体の延命化や公害の暴露防止を図り、安全な運転管理に努めることができます。</p> <p>整備補修工事 ①ごみ投入ホッパ・ゲート補修工事 ②焼却炉内耐火物補修工事 ③焼却炉ストーカ部品取替工事 ④主灰出しコンベア補修工事 ⑤燃料移送ポンプ更新工事 ⑥消石灰圧送機器整備工事 ⑦排水処理装置各処理槽補修工事 ⑧電油操作器更新工事 ⑨燃料貯留槽更新工事</p>

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【交付金事業に関する主要政策・施策】 第5次十津川村総合計画（平成29年度～令和8年度） 「心身再生の郷」を目指す方向性と定め、恵まれた自然環境の中で、人間らしい生き方を求めて、本物の自然や文化との触れ合いを通じ、村民や客人との深い交流ができる人本位の郷づくりをめざします。 むらづくりの分野別方針 『安心・安全な生活環境・基盤の充実』道路等の整備による生活基盤の強化 【目標】 施設が故障により稼働出来ない日を無くす（完全実施） （現状） 稼働すべき日数 167日（令和6年2月26日時点） 目標 稼働率100%</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>施設の稼働率</p>	<p>稼働日数÷稼働すべき日数×100</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>	
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>	
			<p>達成度</p>		<p>100.0%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
	<p>本交付金の活用により、十津川村におけるごみ処理施設を確実に稼働させることができました。機器全体の延命化や公害の暴露防止など安全な運転管理に努め、十津川村総合計画の目標推進を図っていきます。</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	施設の年間処理量		活動実績	t	1,003	960	861
			活動見込	t	1,044	1,003	960
			達成度		96%	96%	90%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考			
総事業費	26,810,300	31,905,500	27,445,000				
交付金充当額	23,611,000	30,000,000	26,561,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	23,611,000	30,000,000	26,561,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額			
焼却炉の整備	指名競争入札	近畿工業株式会社 代表取締役 田中恒良		27,445,000			
交付金事業の担当課室	十津川村衛生センター						
交付金事業の評価課室	十津川村役場 財政課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充 当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	スポーツ公園グラウンド整備事業	下北山村	8,493,000	8,493,000	総事業費 8,580,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	スポーツ公園グラウンド整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		下北山村
交付金事業実施場所		下北山村大字上池原
交付金事業の概要		<p>スポーツ公園のグラウンド整備のための乗用芝刈機1台と乗用砂散布機1台の購入。</p> <p>当該施設にて管理運営を行っているグラウンドは、約2,000㎡の規模があり、既存の機器では十分なメンテナンスが行えません。また、天然芝を用いたグラウンドコートであるため、整備を怠ると使用者の安全面、予期せぬトラブル等が考えられるため十分にメンテナンス作業が行える芝刈機の購入を検討するとともに、天然芝グラウンドコート周りは土見であるため、整備を行うにあたり新規にて砂散布機の購入を検討します。サッカー合宿者、グラウンド使用者の安全面の配慮、整備を行うにあたり景観がより良質に改善されるため、当該施設利用者の増加を図ります。</p>

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>下北山村地方創生総合戦略(令和2年度～令和6年度) 基本方向Ⅰ 交流人口の拡大 施策① 下北山スポーツ公園施設の再整備(利用可能人数の拡大) 【基本方向】 ・今後も、地域おこし協力隊制度や民間活力も入れながら事業が持続可能な取組になるよう工夫したい ・キャンプ場、公園施設、宿泊、温泉施設の利用者・イベント参加者、登山客の人数を毎年度5%増を目指す(釣客除く)</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>		<p>事業終了(予定)年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>単年度納期で実施できるため</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>施設利用者の利便性・快適性の確保</p>	<p>利用者数</p>	<p>成果実績</p>	<p>人</p>	<p>6,369</p>	
			<p>目標値</p>	<p>人</p>	<p>5,000</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>127.0%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を行う為、事業実施後は、事業評価を実施します。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>本交付金の活用により、スポーツ公園のグラウンド整備のための乗用芝刈機1台と乗用砂散布機1台の購入ができました。整備事業を実施することで、グラウンド使用者の安全面の配慮、快適性が確保されます。過去2年間の利用者数のデータでは、令和4年度7,504人/年、令和5年度6,369人/年と1,135人の減少となりました。昨年12月、国道169号の土砂崩れによる全面通行止めのため、スポーツ公園全体の施設利用者が大幅に減少しましたが、今後、道路状況が改善されれば、利用者数は増加すると思われるため、施設をより良く向上させ利用者数の増加に努めてまいります。</p>						
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度		
	スポーツ公園グラウンド整備事業	活動実績	台	2		
		活動見込	台	2		
		達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備考	
総事業費	8,580,000					
交付金充当額	8,493,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	8,493,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
スポーツ公園グラウンド整備事業		一般競争入札		(株)大阪ツーワイ		8,580,000
交付金事業の担当課室	下北山村農林建設課					
交付金事業の評価課室	下北山村農林建設課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	福祉対策 措置	上北山村国民健康保険診療 所運営事業	上北山村	7,394,000	7,394,000	総事業費 7,799,582

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	福祉対策措置	上北山村国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上北山村
交付金事業実施場所		上北山村大字河合
交付金事業の概要		上北山村国民健康保険診療所の看護師3名の人件費10ヶ月分。 へき地である上北山村において唯一の医療施設である上北山村国民健康保険診療所は重要な医療施設となっており、村民が安心して生活できるよう、本交付金を活用することで、医療の提供及び診療体制を確保・維持し、村民の福祉の向上を図ります。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【交付金事業に関する主要政策・施策】 第4次上北山村総合計画（令和2年度～令和11年度） 基本目標2 村民同士が支え合う村づくり 第1節 健康づくりの支援 2. 施策の展開と実施 （3）医療体制の確保 多様化する医療ニーズに対応するため、南奈良総合医療センターや周辺自治体と連携をしつつ、医療施設や機器、医師・看護師の充実を行っていきます。また、奈良県と連携して、自治医大卒業医師派遣による診療を行っているとともに、月2回にわたって整形外科専門医が来村しています。高齢化が進む本村においては、村民の診療環境をより一層整えていくことについても検討します。</p> <p>目標：医療施設や機器、医師・看護師の充実を推進する。</p>																							
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>																					
<p>事業期間の設定理由</p>																								
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>成果指標</th> <th></th> <th>単位</th> <th>評価年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">診療所受診者数の拡大</td> <td rowspan="3">診療所延べ受診者数</td> <td>成果実績</td> <td>人</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	成果指標		単位	評価年度	診療所受診者数の拡大	診療所延べ受診者数	成果実績	人	令和5年度	目標値	人		達成度	%					<table border="1"> <tbody> <tr> <td>2,338</td> </tr> <tr> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>106.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価年度の設定理由 毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため 交付金事業の定性的な成果及び評価等 本交付金の活用により、令和5年4月1日～令和6年1月31日の10ヶ月間において、上北山村国民健康保険診療所の看護師3名を確保することができました。これにより、令和5年4月1日～令和6年1月31日の期間の受診者2,338人に対して、適切な医療サービスを提供することができました。次年度に向けても引き続き雇用することで、第4次上北山村総合計画の推進を図っていきます。</p> <p>評価に係る第三者機関等の活用の有無 無</p>	2,338	2,200	106.3%
成果目標	成果指標		単位	評価年度																				
診療所受診者数の拡大	診療所延べ受診者数	成果実績	人	令和5年度																				
		目標値	人																					
		達成度	%																					
2,338																								
2,200																								
106.3%																								

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度		
	看護師の活動日数（診療日数）		活動実績	日	46	161	
			活動見込	日	46 (R4.12～ R5.2)	161 (R5.4～ R6.1)	
			達成度	%	100%	100%	
交付金事業の総事業費等	令和4年度 (3ヶ月分)	令和5年度 (10ヶ月分)			備考		
総事業費	4,275,343	7,799,582					
交付金充当額	3,938,000	7,394,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	3,938,000	7,394,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
看護師人件費		雇用	看護師3名		7,799,582		
交付金事業の担当課室	上北山村国民健康保険診療所						
交付金事業の評価課室	上北山村総務課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	福祉対策 措置	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村	4,457,000	4,457,000	総事業費 7,215,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村国民健康保険川上診療所維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		川上村
交付金事業実施場所		川上村大字迫

<p>交付金事業の概要</p>	<p>川上村国民健康保険川上診療所の医師人件費（1診療所・医師1名）6ヶ月分。川上村は、第5次総合計画に基づき、都市にはない豊かな暮らしの実現に向け、重要な医療施設として診療所を設置しています。 電源立地地域対策交付金を活用し、診療所の維持運営を図ることで、住民が安心して生活できる基盤の整備に努めてまいります。</p>				
<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【主要政策・施策】 第5次川上村総合計画（平成27年度～令和6年度） 目標：「安全で安心できる地域社会に包まれた暮らしの実現」 福祉プラン：「福祉のサブ拠点づくり」・「地域ケア会議づくり」 ・2つの福祉プランと密接に関連する医療を充実させることで、きめの細かいサポート体制の構築に努めます。</p> <p>【目標】 常勤医師の確保 1名</p>				
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>交付金事業の評価を毎年度行っているため。</p>				
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p> <p>診療所受診者数の拡大</p>	<p>成果指標</p> <p>診療所受診者数</p>	<p>成果実績</p> <p>目標値</p> <p>達成度</p>	<p>単位</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>%</p>	<p>評価年度</p> <p>令和5年度</p> <p>1,575</p> <p>1,700</p> <p>92.6%</p>
<p>評価年度の設定理由</p>					
<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施します。</p>					
<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>本交付金の活用により、川上村国民健康保険川上診療所の常勤医師を雇用し、医師人件費1名6ヶ月分を確保することができました。次年度に向けても、引き続き常勤医師を雇用することで、安心な生活環境を整え、ひいては人口流出の抑制による定住促進を期待したい。</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>					
<p>無</p>					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	診療日数	活動実績	日	123 (R3. 4～ R3. 9)	123 (R4. 4～ R4. 9)	123 (R5. 4～R5. 9)
		活動見込	日	123	123	123
		達成度	%	100%	100%	100%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
総事業費	8,622,278	8,479,346	7,215,000	4月～9月の実績		
交付金充当額	4,436,000	4,460,000	4,457,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,436,000	4,460,000	4,457,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
人件費		雇用		医者1名		7,215,000
交付金事業の担当課室	川上村水源地課					
交付金事業の評価課室	川上村水源地課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	村道川合南角線側溝改良 工事	天川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 8,681,200

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営等 措置	村道川合南角線側溝改良工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		天川村
交付金事業実施場所		天川村大字沢谷地内
交付金事業の概要		<p>当該道路は、天川村における主要生活道路である。しかし、道幅が狭く勾配が急であり、特に冬季になれば道路凍結によるスリップ等で側溝へ脱輪し通行に支障をきたしているため、道路の有効幅員の拡大を図る。また台風等の集中豪雨により雨水が道路に流れ込み、現行の狭い側溝では断面積の不足が見られることから、側溝を整備する。</p> <p>延長140m 自由勾配側溝140m 側溝蓋73枚</p>

<p>交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策 天川村長期総合計画 後期基本計画（平成27年3月～） 第2編 基本計画 第2部 分野別計画 第3章 安全で、安心して暮らせる生活基盤づくり 第1節 道路・交通_暮らしをささえる交通網の整備 ・主要道の改良整備は、適切な住環境の構築に欠くことの出来ないものであるため、引き続き整備を実施し、住民の安全性・利便性の向上を推進します。</p> <p>目標・主要道の改良整備により、住民の安全性・利便性の向上を図ります</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度 事業終了（予定）年度</p>				<p>令和5年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>側溝工事の改修により住民の安全、安心の確保。</p>	<p>側溝工事完成延長÷路線延長×100</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>	<p>93.3</p>	
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>	
			<p>達成度</p>		<p>93.3%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価するため。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
	<p>本交付金の活用により、天川村における主要生活道である路線の整備を行うことができました。今回整備対象とした路線は道幅が狭く勾配が急であり、特に冬季になれば道路凍結によるスリップ等で側溝へ脱輪し通行に支障をきたしていました。また、台風等の集中豪雨により雨水が道路に流れ込み、現行の狭い側溝では断面積の不足が見られていました。道路の有効幅員の拡大を図り側溝を整備したことで通行車の安全な交通が確保でき、天川村長期総合戦略の「安全で、安心して暮らせる生活基盤づくり」の推進を図ることができました。</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度		
	側溝工事完成延長		活動実績	m	140.0	
			活動見込	m	150.0	
			達成度	%	93.3%	
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備考	
総事業費	8,681,200					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
道路工事		指名競争入札		西本建設		8,681,200
交付金事業の担当課室	天川村産業建設課					
交付金事業の評価課室	天川村地域政策課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	村道平大股線舗装補修事業	野迫川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,650,800

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営等 措置	村道平大股線舗装補修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		野迫川村
交付金事業実施場所		奈良県吉野郡野迫川村大字 平 地内
交付金事業の概要		<p>当該路線における舗装はひび割れやわだち掘れが激しく、安全で快適な走行に支障をきたしてきました。舗装面の平坦性を保持することにより村民及び観光客の安全な交通を確保するため、電源立地地域対策交付金を活用し、事故防止に努めています。</p> <p>工事延長L=71.5m 土工=100.0m³ 表層工=415.0m² 上層路盤工=415.0m² 下層路盤工=415.0m² 舗装版切断工=14.0m 舗装版破碎工=420.0m²</p>

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【主要政策・施策】 野迫川村総合戦略 基本目標：美しい野迫川村で「自分らしく なが〜く 暮らす」 『道路・交通網の整備促進』 舗装面の平坦性を確保することにより村営バスの運行路線及び観光施設へのアクセスの際の事故防止の寄与に努めます。</p> <p>【目標】 村道平大股線舗装補修事業の実施 ○舗装工 目標 L=1,200m 現状 L=756.1m</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和5年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和5年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和5年度</p>	
	<p>舗装補修必要延長率</p>	<p>対策済箇所延長÷要対策延長×100</p>	<p>成果実績</p>	<p>m</p>	<p>71.5</p>	
			<p>目標値</p>	<p>m</p>	<p>71.5</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100.0%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
	<p>本交付金の活用により、野迫川村における主要生活道である路線の整備率改善を図ることができました。今回整備対象とした路線はひび割れやわだち掘れが激しく、住民及び観光客の交通に支障を与えていました。今回、舗装補修することで通行車の安全な交通が確保でき、野迫川村の総合戦略の基本目標の推進を図っていきます。</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	舗装補修延長		活動実績	m	47.0	84.0	71.5
			活動見込	m	47.0	84.0	71.5
			達成度	%	100%	100%	100%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考			
総事業費	4,541,900	4,590,300	4,650,800				
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
道路工事		指名競争入札	株式会社 桑迫組		4,650,800		
交付金事業の担当課室	野迫川村建設課						
交付金事業の評価課室	野迫川村建設課						